



三條北ロータリークラブ週報

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!

国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー 第256地区ガバナー 吉野一郎

例会日

1990. 2 . 13

累計 No 158

当年 No 29

会長/平松利朗

幹事/稲田憲治

SAA/笹原勝治

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三條市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事: 卓話「本格的なショッピング時代の到来」ジャスコパルム店店長 山下 厚様

出席: 本日の出席 49名中34名

先週の出席率 49名中44名 89.80%

先週のメークアップ: 2月6日 大阪西北RCへ 外山晴一君

2月7日 三條RCへ 中條耕二君 吉川吉彦君

2月11日 地区青少年委員会へ 梨本清一君

ゲスト: ジャスコパルム店店長 山下 厚様

ビジター: 三條RCより 藤村義彦君 渡辺宏策君 轡田秋夫君 古沢富雄君

三條南RCより 馬場茂夫君

会長挨拶: 平松利朗

18日の投票日に向けて選挙運動が真盛りです。町中を走る街宣車も日毎にボルテージが上って参りました。今回の選挙の争点は「消費税」「政治改革」「農政」の謂ゆる3点セットだと言われますが、中でも消費税の見直しか徹廃かが最大の問題として争われております。消費税が是か非かということは、民間の企業や家庭の立場ではそれぞれの利害関係で判断するのは至極当然ですが、どうも今回の候補者にはおしなべて大所高所に互った税制改革の必要性の説得が少ないような気が致します。今日の日本は目覚ましい高度成長を達成して経済大国にのし上りましたが、一方でカネ余り、モノ余りのヒズミが出てきております。特に若者の精神的ヒズミは大きく、21世紀の日本を託す意味で憂慮されているところです。この間、何かに書いてあったんですが、ソビエト、東欧では現在ペレストロイカの掛声のもと政治改革、経済改革が行われ、これからのいろいろ難しいだろうが若者にとっては自由化という1つの方向性は決まった。ヨーロッパも1992年の経済統合に向けて着々と準備をすすめ、それを契機に過去の栄光を取戻すという大目標に向かって若者も積極的に組んでいる。ところが日本の若者は国家的な、その時代の大目標を見え出し得ないでいる。そこで、その大目標を「東京遷都」にしたらどうだろうと提案しておりました。「遷都」は歴史をみて

は、1955年乗用車の普及率が70%を超えたといわれています。だから日本よりも34年も早く超えているということです。乗用車の普及率が上がって来た事と、アメリカのショッピングセンターが沢山出来はじめて来た事と関連していて、1950年ショッピングセンターが100カ所があり、1955年を界にしてショッピングセンターが急増し、1960年には4500カ所ですから10年間に4400ヶ所増加し、さらに1970年には12000ヶ所、1980年には22000ヶ所、それから現在では30000ヶ所位のショッピングセンターの数がアメリカには有ると言われています。その背景には乗用車の普及と関連をした訳です。日本でもモーターリゼーションの普及から見ると、ショッピングセンターがこれから沢山出来る下地が出来上った見方が出来ると思います。日本にどの位ショッピングセンターが出来ると言う問題ですが、アメリカのケースから単純に人工比率で算出すると最大で15000ヶ所出来るのではないと言う事です。これは単純な人工比率に出した数字ですから、土地の広さの問題とか、ショッピングセンターを建てる事の出来る土地の問題ですので、非常に不確定要素の多い数字ですが、少なくともその位の可能性がある。1989年1500ヶ所位ですからその10倍位のショッピングセンターが出来る可能性がある。最近のショッピングセンターは大型化しています。北村製作所跡地で27000㎡ですから、他に1万、2万、3万㎡と言う様なショッピングセンターの計画が上って来たのが現状かと思えます。大型化していく背景は競走だと思えます。たとえば百貨店、量販店だけが核になって店を出しているよりは、各店舗に専門店が多く出店した大規模な方が大きな魅力があり競走力につく訳であります。さらに物販だけでなくプールとかアスレチック又、映画館、遊園地を併設し、アメニティーみたいな物を持たして行く事を行けば、ショッピングセンターはもっと大きくなって魅力的になる。今後、スーパーマーケット、ホームセンターと専門店が一緒になった規模のもの、これをネバーフッドショッピングセンターと言っておりますが、こう言う型のショッピングセンターが今後出来て来ると言われています。実際は近隣商圈を狙ったネバーフッドショッピングセンターは、アメリカでは全体の65%がある。そこで競走に勝って行ためには、最近のアメリカの例を取りまして、百貨店で「ノードストローム」と言う所が評判を得て躍進している百貨店ですが、これは従業員のサービスを売物にし徹底的に全面に出して行く、たとえばお客に場所を聞かれたら私どもの場合口や手で説明いたしますが、この場合はその場所迄一緒に行き案内する訳です。その他、各フロアでピアノの生演奏を行い雰囲気を出して、たとえば日本人団体客が来た場合日本の曲に変えて細い気配りをする。従業員1人1人が自分のお客を大事にし、2度目のお客の名前まで覚えていて現在では非常に業績を上げている「ノードストローム」の例です。やはり小売業は今後サービスレベルの原点へ行ってしまいます。これは競走になった時の最大の武器でもあり、永遠の課題でもあり非常に取組がたい課題でもある。これをしっかりやった所が生残って行ける訳です。私どもさらに努力をしまして、もっともっと三條地元の方々に愛されるショッピングセンターにして行く為の、サービスの見直しを頑張ってやって行きたいと思えます。

理事會:

◇1989~90年度クラブR V I A委員会組織決定

コーディネーター 斎藤 正君 委員長 木宮 隆君 副委員長 淵岡 茂君

◇新入会員4名入会の件承認

◇オリエンテーション延期の件 3月上旬の予定

◇家族日帰り旅行の件 5月頃弥彦山登山の予定

◇夫婦同伴茶話会 3月6日夜例会ロイヤルホテルに決定

◇早朝例会 本成寺で4月中の予定

◇市内中学校器楽部合同講演会開催の件

2月20日例会: 会員卓話「出会い」河井増雄君

2月27日例会: クラブフォーラム「会員増強委員会より」

も明らかのように国のあらゆる面にインパクトを与える国家的な大事業です。単なる東京への一極集中の解消、地価の鎮静化だけにはとどまりません。必らずや若者にも夢を与え、新しいエネルギーの発露ともなると言うのです。日本が経済大国にとどまらず、大きく国際的にも貢献することを目指すならば「遷都」のような大プロジェクトが選挙の争点となるよう望みたいものです。

幹 事 報 告： 本間副幹事

◇燕 R C 創立30周年、新潟 R C 50周年、豊栄 R C 20周年参加申込みを受け付けています。

ニコニコボックス：

- 馬場茂夫君 (三条南クラブ)今年始めてこの北クラブへのメーキャップです。どうぞよろしくお願い致します。
- 中條耕二君 サッポロビールいよいよ東港に工場進出決定。当社東港工場のすぐ近くです。観光の名所になりそうです。
- 山上茂夫君 格闘技が好きで、TVでタイトルマッチを楽しみました。常に何が起きるか判らないと自分自身に言いきかせて精一杯毎日を生きて行きたいと思います。
- 芦田義重君 今日御多忙中の所、ジャスコパルム店山下店長の卓話を御願ひ致しました。皆さん御期待して下さい。
- 今井克義君 5年間乗ったシビックを買い換えることにしました。何かを買うということは少し気分が良いものです。
- 石川勝行君 ひさしぶりのロータリーです。
- 渕岡茂君 来月25日長男1才になります。目が離せず、酒も飲みに行けない今日此頃です。
- 村山誠一君
- 江口悟君 社員旅行でシンガポールへ行って来ました。10年ぶりでしたがとてもきれいな町になっていました。
- 吉川吉彦君 結婚15年をむかえて。
- 笹原勝治君奥様 誕生日のお祝いに、桃の花と菜の花を頂きました。心が春めいて、とてもうれしゅうございました。有難うございました。御礼申し上げます。皆様の御健康と御活躍をお祈り致します。

山崎勲君 風邪をひいて財布を忘れました。今日の分はツケ。

ロータリー財団：

山上茂夫君 将来の子供達の為に……。

平松利朗君 今月は世界理解月間なのでロータリー財団ボックスに協力。

卓 話：「本格的なショッピングセンター」ジャスコパルム店店長 山下 厚様

ジャスコパルム店の店長の山下です。宜しくお願いいたします。トップの組織の方々の前でお話しをすること事態荷が重いのですが、地元の方とすこしでもお近づきが出来る機会があればという事と、自分自身の勉強になればと思い、意を決してまいりました。初めてですので自己紹介をさせていただきます。出身は三重県志摩郡磯部町という所で伊勢志摩国立公園の中で、伊勢神宮の近にあります。商売柄転勤が多くて三重県を最初に愛知、静岡、栃木を経験し新潟に来た訳ですが、上越を振出に五泉、新潟青山店、現在のパルム店に至っておる訳ですが、新潟に来てから9年位になります。新潟は第2の古里になる訳ですが現在家族は新津に居て、私は仲町のアパートに単身で赴任しております。私ども三条では商売も厳しく、アイリータウンやニチエーの進出でますます競走が激しくなります。今日お話す事ですが最近小売業を取巻く環境、小売業自身がこれまでと変り

初めた状況がいろんな所でいろんな型で出て来ていますので、その辺の話をしたいと思います。最近の小売業を取巻く環境とか変化と言う状況を考えた中で、特徴的な問題は、先日1月20日の日経新聞に新潟市近江の北村製作所本社工場跡地への、ショッピングセンターの計画が20日新聞に発表されました。このショッピングセンターの計画そのものが非常に今の小売業の状況を含んでいるので、私自身興味をもって読んだ記事の1つであります。このショッピングセンターの概要を紹介いたしますと、北村製作所跡地が35000㎡で、4階建を1棟、2階建を1棟合わせて売場面積が27000㎡のショッピングセンターの計画であります。私どもパルム1が11000㎡でありますので倍以上の規模ですのでかなり大きいショッピングセンターです。各店舗の中心となる店舗ですが「トイザラス」というアメリカの専門店の日本法人で、「日本トイザラス」が5000㎡、ホームセンター「コメリ」が5000㎡、スーパーマーケットの「原信」が5000㎡、専門店が65店位入りそれが5000㎡、その他に「角上魚類」その他の店が入り、全体で27000㎡位になり駐車場も1200台位になり、かなりの大規模ショッピングセンターの計画になります。最近の小売業に置かれている環境の中で、1つは国際化の問題だと思います。すでにお話をしている「日本トイザラス」についてお話しいたします。アメリカ玩具の専門店「トイザラス」と「日本マクドナルド」が組み、日本上陸を計画しているという事です。すなわちアメリカの資本がこちらに入ってくる意味で、これまでにない新しい動きです。「トイザラス」は玩具の専門店ですが、その他子供服、ベビー用品等を合せて玩具中心にチルドレンショップを出店している訳ですが、先ほども「トイザラス」だけで売場面積5000㎡ですが、アメリカでの現在の店舗規模で4000㎡が標準的な規模で、私ども量販店での玩具の売場面積は100㎡位、最近ロードサイドに出店している玩具専門店では500㎡位、それと比較するとこの計画の5000㎡はかなり大きなものと言う事が理解してもらえると思います。アメリカでは「トイザラス」は専門店の中で好調な業績を上げている専門店であります。この「トイザラス」が「マクドナルド」と組んで年末に日本上陸して来る訳ですが、1号店となるのが北村製作所跡地のショッピングセンターと言う事です。さきほど話した小売業の国際化と言う事で、私どものグループでもマレーシア、タイ、香港で7店舗の海外進出をしておりますが、他にも海外に進出している店は沢山ありますが「トイザラス」の場合は、海外資本が日本に入ってくる訳ですが、日米構造協議のテーマの中で流通制度の見直し、大店法の見直しと言うものに関係がありまして、ちょっとキナ臭い部分をもった問題でもある。こう言う問題の中でいよいよ国際化が本格的になったと言う感想がいたします。それでは本日のタイトルでもあります「本格的なショッピングセンターの時代」がいよいよ日本にやって来る感じです。去年あたりから日本国内でもショッピングセンターの出店が盛んになっており、1989年では全国87ヶ所、ショッピングセンターとしてオープンいたしました。ショッピングセンターの規準をどの様に置くかと言う事で、これは日本ショッピングセンター協会が行っている政令指定都市が3000㎡以上、その他の都市が1500㎡以上の商業施設をショッピングセンターと言う訳です。1990年は100ヶ所を超えるのではないかと話すので、今現在計画として出ているのが1500ヶ所、既存のショッピングセンターはどうかと言うと1989年末で、全国で1429ヶ所です。現在計画されているショッピングセンターと同数であるのが実情である。ここでショッピングセンターが急速に出店を興す背景の中で1つは、個人消費が盛り上っている、もう1つは大店法の見直しが背景になっています。もう1つ一番大きい背景はモーターリゼーションの普及が、ショッピングセンターの出店の大きい背景となり、1つは道路網が非常に整備され高速道路、インターチェンジを利用して広域に収却をする下地が出来てきた。それと乗用車の普及率の問題が背景にあるといわれています。1989年日本の世帯当りの乗用車普及率は70%を超えた訳ですが、我々の先輩であるアメリカで